

電子化、デジタル化の嚆矢となった日本初の全電子式時分割形交換機

登録番号	第 00231 号		
登録年月日	平成29年9月12日	登録区分	第二種

名称 (型式等)	全電子式時分割形交換機 A0-1
所在地	埼玉県さいたま市
	芝浦工業大学
所有者 (管理者)	芝浦工業大学
製作者(社)	秋山 稔・尾佐竹 徇
製作年	1958年
初出年	1958年
選定理由	国産初の全電子化交換機の試作機を大学の研究室で製作したものであり、通話回路を時分割形にするだけでなく、制御回路を時分割の多重制御形にすることにより、大容量の交換方式を実現した。この技術により、日本の電子式交換機、時分割形交換機開発に対する先駆的な役割を果たした。同分野の研究者及び技術者に対する啓発、動機付け等においても多大なる影響を及ぼし、その後の電子式交換機の開発で世界をリードする原点となった機械として重要である。
登録基準	一一口（国際的に見て日本の科学技術発展の独自性を示すもの）

公開・非公開	公開
写真	
その他参考となるべき事項	